

がんばれ熊建労

福岡県建設労働組合

〒815-0031

福岡市南区清水1丁目22-9

福建労本部(内)

TEL : 092-511-4703

FAX : 092-511-4752

熊建労地震支援 組合の原点は「たすけあい」

安否確認のため訪問行動

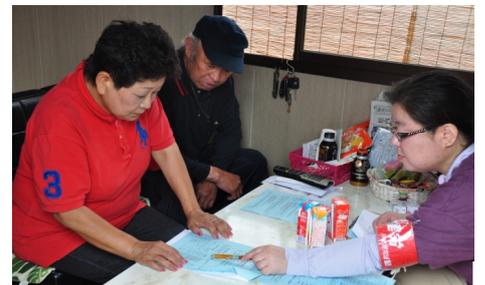
6月5日、熊建労への地震支援ボランティアに福建労から3支部9人の参加で行きました。9班に分かれて行動し、2人は組合員宅のがれき処理。あとの人は、8班に分かれて熊建労の仲間と一緒に組合員訪問をおこないました。がれき処理では、4tトラック3台分に相当するがれきを処理しました。



4tトラック3台分のがれき処理しました

訪問行動では、被災された組合員さん宅を安否確認も含めて一軒一軒訪問し、熊建労の生活たすけあい制度(組合員一人につき10万円限度に生活資金融資など)、医療費の3割窓口負担の免除、組合費・中建国保保険料の免除など紹介し、具体的な手続きのながれを説明しました。

熊建労書記の電話を受けて避難先から駆けつけてきた組合員は、「中建国保に入っていて、主人が透析を受けている。医療費は免除されると聞いていたが、請求が3万円来ていた」という人が



熊建労たすけあい制度を丁寧に説明する熊建労書記(右)。左は益城町の被災者

がおり、対応した熊建労書記は「それはおかしい。さっそく医療機関と掛け合ってみる」と答えていました。

震災の影響がひどい地域の益城町では、家屋の倒壊がひどく訪問したほとんどの人が家には住んでおらず、親戚の家に身を寄せていました。携帯電話に電話をして訪問のことを話すと、

益城町の全壊した組合員さん宅を訪問
組合員さんは妻の実家に身を寄せていました

どなたも組合の訪問を好意的に受け取り、いろんな相談をしていました。

建設労働組合の原点である組織の大切さがわかった訪問行動でした。

福建労では、この支援行動を当面6月12日、6月26日、7月3日に実施する予定です。青年部は6月25日・26日に支援行動を計画しています。



作業を終了し挨拶する福建労の北川産業対策部長

■被害状況 熊建労該当支部(6月6日 9時現在)

支部名	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	八代	計
ケガ	0	0	7	6	10		23
全壊	2	1	70	14	7		94
半壊 瓦・一部	11	9	447	59	146	10	682
地盤沈下 液状化		1 (川沿い)					1
土石流避難		4					4

■被災地の状況

- ・一度ボランティアの来てもらったが、まだ家の中が片付いていない
- ・熊建労に支援物資が届いていることを知らない組合員がいる

■被災した仲間の要望

- ・土日を問わず組合員の来所が続いていた東部支部で、6月5日の来所者が居なかった
- ・ブルーシートを使っていたが、破れてしまい再度取りに来る方が増えている。
- ・水・レトルト食品等の要望が強い

■支援活動

- ・支援
 - 6月5日福建労と建設長崎・大分県建設合同労働組合の青年部有志がボランティアに駆けつけ、総勢36人で訪問・がれき撤去などのボランティア行動をおこなった
 - 6月5日熊建労人吉球磨支部の中球磨分会の仲間8人が、ボランティア活動に参加

・今後の日程

- 12日(日)福建労がボランティア活動で来熊予定